

1. 実況上の着目点

- ① 500hPa 5820m付近の強風軸に対応した前線が日本のはるか東から日本の南と九州付近を通り華中へのびている。500hPa 5820m付近の正渦度極大域に対応した前線上の低気圧が東シナ海を東進。東シナ海では前線近傍で発雷を検知。
- ② 台風第7号が非常に強い勢力でフィリピンの東を西北西進。
- ③ 500hPa 5580m以下で-18℃以下の寒気を伴う寒冷渦が北海道付近を南下。
- ④ オホーツク海の高気圧が南南東へ移動。日本海の高気圧が東へ移動。



主要じょう乱解説図

2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の東シナ海の前線上の低気圧は、23日夜にかけて東シナ海を東進し、その後、不明瞭化する。24日朝までに、500hPa 5820m付近の正渦度極大域に対応した低気圧が対馬海峡付近で発生し、東北東進する。1項①の前線は、23日夜にかけて九州付近で停滞する。1項②の台風第7号は、北上しながら次第に進路を東寄りに変えて、24日夜までに沖縄の南へ進む。1項③の寒冷渦は24日夜にかけて、日本の東へ進み、500hPaで-12℃以下の寒気が北～東日本の上空に広がる。前線や対馬海峡付近の低気圧に向かう850hPa 相当温位 345K以上の下層暖湿気、地上の昇温、上空の寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となり、雷を伴う非常に激しい雨の降る所がある。西日本では24日にかけて、北～東日本では23日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒。全国的に23日は、西日本では24日にかけて、落雷、突風に注意し、局地的に竜巻などの激しい突風に注意。前線近傍での風の強まりによる風浪を波源とするうねりや、台風を波源とするうねりの影響で、波が高くなる所やしける所がある。北日本では23日は、西日本～南西諸島では24日にかけて、強風、うねりを伴う高波に注意。
- ② 25日は、500hPa 5700m付近で-12℃以下の寒気を伴うトラフが朝鮮半島付近へ南下し、2項①の対馬海峡付近の低気圧は、次第にこのトラフに対応し、日本海西部を北東進。2項①の前線は、本州の南海上でゆっくり北上し、東～西日本太平洋側を中心に降水域が広がる。2項①の台風第7号は、引き続き25日も沖縄の南を北上し、先島諸島に接近する見込み。前線に向かう下層暖湿気の影響で、大気の状態が不安定となり、雷を伴う激しい雨の降る所がある。西日本では25日は、土砂災害、低い土地の浸水、河川の増水に注意・警戒し、落雷、突風に注意。前線近傍での風の強まりや、台風第7号の影響で、非常に強い風が吹き、しける所がある。沖縄地方では25日は、暴風、うねりを伴う高波に注意・警戒し、全国的に25日は、高波に注意。

3. 数値予報資料解釈上の留意点 総観場はGSMを基本、量的予想や降水分布はMSMやLFMも参考。

4. 防災関連事項【量的予報等】 ① 雨量(06時から24時間)：九州北部150、九州南部120mm。

② 波浪(明日まで)：沖縄5、東北・関東・九州北部3m。

5. 全般気象解説情報発表の有無 発表の予定はない。